

地域再生計画 = 熊本県本渡市 =

- 1 地域再生計画の申請主体の名称
熊本県本渡市
- 2 地域再生計画の名称
日本の宝島天草ほんど活性化計画
- 3 地域再生の取組みを進めようとする期間
平成 16 年度～平成 21 年度（6 年間）

4 地域再生計画の意義及び目標

本渡市は天草地域のほぼ中心に位置し、天草生活圏の産業、経済、教育、文化をはじめとするあらゆる分野の中心都市として発展してきました。なかでも中心市街地は、経済活動の中心地域として発展してきましたが、中核施設であった本渡バスセンターをはじめニチイや寿屋の撤退、駐車場問題等に伴い、地域の活力は低下の一途をたどっている状況です。しかし、この地域には国の重要文化財に指定されている石橋「祇園橋」をはじめ、同じく重要文化財の「天草四郎陣中旗」を収蔵している天草切支丹館、歴史的建造物（昭和 10 年完成）である天草教育会館などの施設があり、これらの活用次第では地域の活性化も可能になると考えられます。また、中心的な商業ビルであった旧ニチイビルを平成 14 年末に市が買収し、現在、総合的なコミュニティー施設への改修を検討しているところです。このように各施設を関連付けながら魅力を高める整備事業を行うためには、支援措置におけるまちづくり交付金を活用し中心市街地及び周辺の整備事業を一体的に行うことが必要となります。

観光に関する施策としましては平成 9 年に熊本港と本渡港を結ぶ超高速船「マリンビュー」が就航、12 年春には福岡・熊本と天草を結ぶ「天草空港」の開港によって交通アクセスが格段に進歩し、これまで減少傾向にあった観光客も増加の兆しを見せています。さらに平成 14 年 8 月には天草フィルムコミッションが設立され、24 時間テレビのドキュメンタリーや NHK の大河ドラマ「武蔵」の決闘シーンなどの誘致に成功。新たな観光資源の発掘と PR に努めています。この事業をより有効、活発に展開していくためには支援措置の活用が非常に重要となります。

また、観光客の誘致に向けたイベントとしましては、天草ほんど夏ま

つり（天草ハイヤ道中踊り、天草子ハイヤ、花火大会を同時期に行う夏のイベント、観客は延べ 135,000 人を数えます） 天草殉教祭（天草・島原の乱で亡くなった人たちを宗派を超えて慰める、キャンドル行列など幻想的な秋のイベント） 天草マラソン大会（小学生から一般まで気軽に参加できる 3 ～ 10 歳の部と県下唯一のフルマラソンの部があり、新春の天草路を走る冬のイベント）などがあり、これらがより魅力あるイベントに生まれ変わるためには、地域再生による支援措置を活用し、地元住民のイベントへの参加、協力を促すことが必要不可欠となります。

これらの文化施設や交通施設、観光施設、ソフト事業を有効に活用し中心市街地の活性化、ひいては本渡市全体の活性化につなげるためには、それぞれの施設の魅力を高め、周辺の環境整備も図りながらソフト事業と有効に結びつけ、集客力を向上させることが不可欠となります。そのためには関係府省の協力を得て、まちづくり交付金など各種支援施策（補助事業等）を連携・集中して実施していくと同時に、映画ロケ・イベント等の道路使用の円滑化や道路使用許可、占用許可の手続き改善といった支援措置を活用していきたいと考えています。

具体的な関連事業は別添のとおりですが、これらのハード事業とソフト事業をそれぞれ有機的に関連付けながら、観光客の誘致を図ると同時に地元住民の憩いの場を創り出し、中心市街地周辺の活性化を図ること、及び地域における雇用の創出を目標とします。

5 地域再生計画の実施が地域に及ぼす経済的社会的効果

本渡市における海の玄関口である本渡港を基点とし、中心市街地一帯の活性化を図る本計画は、訪れる人たちに歴史や文化、さらには人や情報に触れる機会を提供し、空洞化が進む中心市街地に賑わいと活力を取り戻します。

この計画の狙う効果は 4 点。第 1 点は観光客の増加によるまちの活性化です。本渡港を整備し高速船や大型船の発着を増やし、また、天草空港を積極的に活用することによって、福岡・熊本をはじめ都市部の観光客の増加を図ることで、観光の拠点となる天草切支丹館や祇園橋周辺などの改修によって個々の施設の魅力を高め、天草ほんど夏まつりや天草マラソン大会、フィルムコミッション事業などと関連付けることで、観光客の満足度をアップし、交流人口が 5 年間で 15% 増加することを目指します。

第 2 点は地元住民の憩いの場を創出し、人と人が触れあえる空間を創ることです。旧ニチイビルでは「人と情報のネットワークプラザ」をコン

セプトに、市内のボランティア団体やNPO、各種団体が集い、情報交換や各種発表の場を提供します。

第3点は地域の歴史や文化を見直し、永く後世に伝えることです。国の重要文化財に指定された「祇園橋」をはじめとする地域の文化財をもう一度見直しながら整備保存し、住民生活に潤いを与えると同時に、観光ルートの一環としての利活用も進めます。

第4点は中央商店街に活力を取り戻し、地元住民がゆっくりと歩きながら利用できる商店街、休憩スペースを整備することです。車社会の発展により市内にも大型駐車場を備えた郊外型大規模店の進出が相次ぎ、中央商店街は衰退の一途をたどっています。中央商店街のアーケード整備事業や周辺街並み整備事業、旧ニチビル改修事業などによって、賑わいを取り戻すと同時に、緑や休憩スペースの配置によって、お年寄りや子どもたちが安心して、ゆっくり歩いて買い物を楽しめる商店街をつくり、販売額の大幅なアップを図ります。

6 講じようとする支援措置の番号及び名称

212028 [まちづくり交付金の創設]

201001 [映画ロケ、イベント等及びカーレースに伴う道路使用許可の円滑化]

201002 [民間事業者等の経済活動に伴う道路使用許可の円滑化]

212002 [道路占用許可弾力化(オープンカフェ等)]

7 構造改革特区の規制の特例措置により実施する取組その他の関連する事業
その他関連する事業

お年寄りや子どもたちの買い物の足を確保するために、低料金で利用できる周遊バスの運行(地元バス事業者による)を目指す。

8 その他の地域再生計画の実施に関し地方公共団体が必要と認める事項
該当なし

別紙（１）

1 支援措置の番号及び名称

[2 1 2 0 2 8] まちづくり交付金の創設

2 当該支援措置を受けようとする者

熊本県本渡市

3 当該支援措置を受けて実施し又はその実施を促進しようとする取組の内容

実施主体：熊本県本渡市

実施場所：本渡市内中心市街地周辺

実施期間：平成 17 年度～平成 21 年度（16 年度申請予定）

事業内容：中心市街地周辺の魅力を高め、天草ほんどの活性化（再生）のためにまちづくり交付金の交付を受けて以下の事業を実施します。

天草教育会館保存整備事業

天草教育会館は昭和 10 年 3 月に完成した洋風建築の建造物であり、当時の図面や費用等の詳細が保存されているため天草の建築史の上で貴重なものである。施設は老朽化が進んでいるが、このような文化的な価値を考えると解体せずに保存活用することが望まれている。市ではこの施設を歴史的建造物として購入し、天草アーカイブズの資料展示室等として改修利用する計画である。

天草切支丹館整備事業

天草切支丹館には国指定の重要文化財「天草四郎陣中旗」をはじめ、16 世紀後半にキリスト教が伝来してからのポルトガルを中心とした南蛮文化、天草・島原の乱、天領となった天草の初代代官鈴木重成の功績や隠れキリシタン、明治の文豪北原白秋ら五足の靴の歌集など関係資料 400 点を展示し、本渡における観光の中心施設となっており、平成 15 年度の入館者数は 67,600 人である。しかし、昭和 41 年に建築され老朽化が進んでいる建物であり、また、周辺道路は幅員が狭く、大型バスの通行に支障をきたす状況であるため、周辺の整備と一体となった改修事業が求められている。

中央商店街アーケード整備事業

本渡中央商店街振興組合では、昭和 48 年に第 1 期アーケード工事を行い、1 億 2 千万円で延長 352m のアーケードを整備した。また、昭和 57 年には第 2 期アーケード工事として、61m の延長工事と全面改修を 2 億 2 千万円で行っている。それ以来 20 年以上が経過し、老朽化が著しく補修費も増大しており、組合では近く改修を行うよう検討中である。

昭和橋改修事業

昭和橋の架設年度は不明であるが、昭和初期に架設されたものと想定される。補修履歴によると昭和 50 年に桁、橋台、橋脚、平成 5 年に地覆、高欄、親柱の補修が行われているが、劣化損傷が進行している状況である。また、設計荷重も 14 t、橋脚も 2 基設置され河川断面を阻害しており現在の設計基準には不適合である。中心市街地に架かる橋であり、車両及び歩行者の通行量も多く架け替え工事を実施したい。

周辺街並み整備事業

～ までの事業を有機的に連結させ、街並みの調和を図るため周辺の街路、歩道、街路灯、橋の欄干等を統一して整備改修する。

別紙（ 2 ）

1 支援措置の番号及び名称

201001 [映画ロケ、イベント等及びカーレースに伴う道路使用許可の円滑化]

2 当該支援措置を受けようとする者

天草フィルムコミッション [会長・安田公寛（本渡市長）、事務局・天草観光協会]

3 当該支援措置を受けて実施し又はその実施を促進しようとする取組の内容

実施主体：天草フィルムコミッション

実施場所：天草地域一円

実施期間：平成 16 年度～

事業内容：

映画やテレビの力を観光客の誘致につなげようと平成 14 年 8 月に「天草フィルムコミッション」(以下天草 F C) が設立されました。天草 F C は観光協会、市町長会、文化協会、青年会議所、農協、漁協、旅館組合など 20 団体で構成し、九州で 4 番目、全国では 28 番目に結成されています。天草 F C では平成 14 年の 24 時間テレビ「愛は地球を救う」を皮切りに、NHK の大河ドラマ「武蔵」の巖流島決闘シーンなどを誘致しています。今後も映画やテレビドラマ、CM などの撮影場所の選定、提供や宿泊施設やケータリングの手配、関係公共機関との折衝を手がけ、天草の観光振興を図っていく計画です。

この支援措置により発出された内容にそって、住民や道路利用者との合意形成を図るために本市、フィルムコミッションが連携・協力することで、ロケの誘致により積極的に取り組むことが可能となります。

別紙（ 3 ）

1 支援措置の番号及び名称

2 0 1 0 0 2 [民間事業者等の経済活動に伴う道路使用許可の円滑化]

2 当該支援措置を受けようとする者

- ・ 本渡市
- ・ 天草ほんど夏まつり実行委員会
- ・ 市内各商店街 等

3 当該支援措置を受けて実施し又はその実施を促進しようとする取組の内容

実施主体：本渡市

天草ほんど夏まつり実行委員会

市内各商店街 等

実施場所：本渡市内

実施期間：平成 16 年度～

事業内容：

天草ほんど夏まつりは、天草ハイヤを全国に広め、花火大会等で観光ほんどを P R し、中心商店街の活性化を図ると同時に本渡市の活性化を目標に毎年夏に開催されています。ハイヤ総踊りには市内外から 36 団体約 3,000 人が参加（観客は 50,000 人）、花火大会には 70,000 人の観客が訪れるなど、天草の夏の風物詩として定着してきました。

ハイヤ総踊りや子ハイヤでは道路を使用した道中踊りを行っており、また、花火大会では港湾施設や臨港道路を使用して見物スペースや地元商店街の物販設備等を設けています。また、天草殉教祭や天草マラソン大会など道路等を使った各種イベントも数多く実施されており、平成 16 年度中に発出が予定されている通達に沿った取組みを行うことにより、これらの取組みを推進していきたいと考えています。

別紙（４）

1 支援措置の番号及び名称

2 1 2 0 0 2 [道路占用許可弾力化（オープンカフェ等）]

2 当該支援措置を受けようとする者

- ・本渡市
- ・天草ほんど夏まつり実行委員会
- ・市内各商店街 等

3 当該支援措置を受けて実施し又はその実施を促進しようとする取組の内容

実施主体：本渡市

天草ほんど夏まつり実行委員会

市内各商店街 等

実施場所：本渡市内

実施期間：平成 16 年度～

事業内容：

天草ほんど夏まつりは、天草ハイヤを全国に広め、花火大会等で観光ほんどを P R し、中心商店街の活性化を図ると同時に本渡市の活性化を目標に毎年夏に開催されています。ハイヤ総踊りには市内外から 36 団体約 3,000 人が参加（観客は 50,000 人）、花火大会には 70,000 人の観客が訪れるなど、天草の夏の風物詩として定着してきました。

ハイヤ総踊りや子ハイヤでは道路を使用した道中踊りを行っており、また、花火大会では港湾施設や臨港道路を使用して見物スペースや地元商店街の物販設備等を設けています。また、天草殉教祭や天草マラソン大会など道路等を使った各種イベントも数多く実施されており平成 16 年度中に発出が予定されている通知に沿った取組みを行うことにより、これらの取組みを推進していきたいと考えています。